

一般質問通告一覧

平成26年第4回島田市議会定例会
平成26年12月3日・4日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成26年12月3日(水)

11番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	1
6番	森伸一	議員(一問一答)	-----	2
1番	青山真虎	議員(一問一答)	-----	3
3番	横田川真人	議員(一問一答)	-----	4
12番	佐野義晴	議員(一問一答)	-----	5
18番	藤本善男	議員(一問一答)	-----	6
7番	仲田裕子	議員(一問一答)	-----	7

平成26年12月4日(木)

5番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	8
9番	村田千鶴子	議員(一問一答)	-----	9
2番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	10
4番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	11
19番	八木伸雄	議員(一問一答)	-----	12
8番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	13
17番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	14

○一般質問の質問時間の目安

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問時間	9:30 ~ 10:20	10:20 ~ 11:10	11:10 ~ 12:00	13:00 ~ 13:50	13:50 ~ 14:40	14:50 ~ 15:40	15:40 ~ 16:30

あくまでも目安です。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

1. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 子どもたちに行き届いた教育を

- (1) 教育委員会制度について、地方教育行政法の改正により首長が直接任命する新教育長を教育委員会のトップにすること、教育政策の方針である大綱を首長が決定するなど、教育委員会の独立性を奪い、首長が教育内容に介入する仕組みがつくられると危惧するが、市長の見解を伺う。
- (2) 全国学力・学習状況調査について
静岡県知事が市町教育委員会の同意を得ずに、校長名や市町ごとの平均点を公表したことに批判の声が上がっている。
 - ① 島田市での学力テスト結果とその評価についての見解を伺う。
 - ② 学力向上委員会の取り組みを伺う。
 - ③ 学力テストが競争化し、子どもにも、教師にも過度な負担を与えている。学力テストへの参加を見直すべきと考えるがどうか。
- (3) 財務省は「35人学級は教育的効果がない」と、40人学級への見直しを文部科学省に求めると報道された。静岡県は県独自の35人学級を実施している。少人数学級に対する見解を伺う。
- (4) 教育への市の嘱託員の配置について
 - ① 学習や児童・生徒の心のケア、学校図書館への支援など市独自の支援員の配置の実態はどうか。
 - ② 12学級以上の学校の図書館支援員は単独配置にするなど増員が必要だがどうか。
- (5) 不登校、いじめについて
 - ① 全国的に増加傾向であるが、島田市の実態とその対策はどうか。
 - ② スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの果たす役割について伺う。

2. リニア中央新幹線問題について

10月17日、国土交通省はJR東海が2027年に東京・品川—名古屋間の開業を目指すリニア中央新幹線の着工を認可した。工事に当たっては南アルプスの自然環境と地域住民の生活環境の保全が絶対条件である。特に、この工事により大井川の水量が毎秒2トン減水するとJR東海の予測は何としても食い止めなければならない。市の対応を伺う。

- (1) 関係行政区で構成されている「環境保全連絡会議」での対応を伺う。
- (2) JR東海は水量の減水に対して工事实施前、工事中、工事後の対策をどう考えているのか。
- (3) 関係自治体や地元住民が納得する説明を十分行うよう求めるがどうか。

2. 6番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 牛尾実験所跡遺跡、市民会館、博物館など島田市の文化に対する姿勢について

- (1) 先日牛尾実験所跡遺跡保存を要望する3163人の署名が市長に提出されたとき、市長は治水は地元住民の悲願で工事が必要だが、国土交通省と話をする機会を持つと述べたが、いつ行うか。
- (2) 8月下旬に戦争遺跡保存全国シンポジウム川崎大会から牛尾実験所跡遺跡の保存についての要望決議が市長宛てに提出された。この中には、文化財としての価値判断について専門家の意見を聴取し、島田市文化財保護審議会等で審議することとあったが、どのような対応をしたか。
- (3) 大井川河川改修事業の説明資料によると、100年に1度起きる大雨（2日間の総雨量が551ミリメートル）の時、大井川の計画高水流量は毎秒9,500立方メートルと予測され、牛尾山の掘削により水位が1.4メートル低下し洪水を防げるとある。平成以降の豪雨で最大流量を記録したのはいつで、その時の総雨量は何ミリメートルか。
- (4) 市民会館休館に伴い他会館利用時の補助金給付が実施されたが、ソフト面に関してほかの対応も考えているか。
- (5) 大井川川越遺跡保存管理計画内で島田市博物館について言及しているが、博物館の内部改装も含め博物館の将来像、活用をどう描いているか。
- (6) 川越遺跡、博物館、大井川河川敷、蓬莱橋といった文化遺産の多いコースを観光面で活用することも考えるべきだと思うが、具体策はあるか。

3. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 高齢者と団塊世代の今後の生活、その生活を支える若者の人口流出について

- (1) 行政として今、消滅した老人クラブの復活を促す必要はあると思うか伺う。
- (2) 人の役に立ちたいと願う市民に、認知症などの理由で行方不明になった方の検索をメールで協力要請してはどうか。
- (3) 市内の伊太、川根両温泉施設発着の市民病院行きコミュニティバス路線を考えていく必要性について伺う。
- (4) 市民病院の療養型ベッド数は需要に対して足りているか。
- (5) 生の戦争体験を聞く機会は、戦後70年を契機に一旦増加し、その後は激減していくことが予測される。各行事で戦争体験の講話を企画していると思うが、その予定と今後の定期開催の必要性について伺う。
- (6) 高齢者を支えていく若者の人口流出を防いだり、Iターン・Uターンできるような若者向け施策は市として何があるか。また、雇用以外の問題で若者が地域に可能性を見出せない理由は何であると考えるか伺う。

2. 子どもたちに笑顔でバトンタッチ、先祖も心配されている島田の死活問題について

- (1) 未来の市民生活に影響が出かねない事業や開発、国策等はどのようなものがあるか。その影響予測と対応を伺う。
- (2) 箱物行政からの脱却、財政健全化、広域医療の具体的取り組み及び医師不足の解消について、市は最大限の鋭意努力をした上で、市民病院の新構想なり計画を進めているのか、また、進めていくのか伺う。

4. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 喫煙環境について

- (1) 市たばこ税収入は年間幾らか。
- (2) 喫煙を原因とする、通院による国保負担はどの程度か。
- (3) 受動喫煙による被害の把握はあるか。
- (4) 喫煙者のマナー向上へ向けた取り組みはあるか。

2. 新病院建設基本構想の評価について

- (1) 業務委託費1,000万円はどのように使用されたか。
- (2) 基本構想の完成品は満足のものか。

3. 公共施設マネジメントについて

- (1) 公共施設マネジメントのスケジュールはどうか。
- (2) どのような方向性をもってまちづくりを進めるのか。

5. 12番 佐野義晴 議員 (一問一答)

1. 耕作放棄地と企業誘致及び土地利用について

耕作放棄地の拡大等、農家が抱える課題は今後のまちづくりを進めていく上で大きな影響を及ぼすものと考えられる。

一方、島田市を含むどの自治体でも少子高齢化による人口減少等に伴い、まちの元気に沈滞現象が起こり、大きな社会問題となっている。

この打開策として企業誘致等が挙げられるが、その受け皿となる土地の確保は既成の法律が障壁となって、新たな土地利用が難しい状況にある。

こうした現状を踏まえ、以下伺う。

- (1) 耕作放棄地の現況を伺う。
- (2) 農業と都市的土地利用の整合をどのように図るか伺う。
- (3) 企業誘致と地域づくり及び土地確保のあり方を伺う。
- (4) 農振法及び都市計画法の用途見直しについて伺う。

1. 公共施設の整備と適正配置について

島田市総合計画後期基本計画の平成27年度以降の実施計画書が示された。計画書では公共施設の整備と適正配置について市役所本庁舎建設を優先的に検討するとの方針が示されたが、以下の点について伺う。

(1) 島田市役所本庁舎建設について

- ① 既存施設の耐震性などはどのような状況か。
- ② 建設場所、規模、時期などの具体案はあるか。
- ③ 合併特例債の活用を視野に入れて建設を検討することだが、新市建設計画の中でどのような位置づけとなっているか。
- ④ 現在の合併特例債の起債総額は幾らか。また、起債限度額は幾らか。

(2) 金谷庁舎、市民会館の今後について

- ① 後期基本計画では金谷庁舎の跡地を総合的に検討するという方針だが、金谷庁舎の機能移転はどのように考えているか。
- ② 市民会館の利用中止による文化・芸術活動及び各種行事への影響はどのような状況か。

2. 再生可能エネルギーの導入促進について

環境への負荷を低減させるまちづくり推進のため、市では重点施策として再生可能エネルギーの導入促進を進めているが、以下の点について伺う。

- (1) 再生可能エネルギーの導入促進として市が取り組んでいる内容を伺う。
- (2) 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の見直しをする動きがあるが、市の施策に与える影響はどうか。
- (3) バイオマス発電や風力発電などの調査・研究及び蓄電システムの構築・導入はどのような状況か。

7. 7番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 茶産業の政策について

9月定例会において島田市の農業政策について市長の考えを伺い、多くの有意義な答弁を得た。今回は、茶産業の今後の施策について質問する。

- (1) 事業仕分けに出されたがんばる認定農業者支援事業に対して、事業仕分けの際に委員から出された意見と結果を伺う。
- (2) 市長は前回の質問に対して、売れるお茶の定義を「消費者の好むお茶」と答弁した。市長の考える消費者の好むお茶とはどのようなお茶か伺う。
- (3) 市長はJA女性部に対して出されたマニフェストに、お茶の味はリーフ茶を飲まずして、リーフ茶の普及は図れない。子供のころから舌で覚えるものである等のことを記載している。また、島田市内の全小・中学校で茶文化教育を行い、急須によるお茶の入れ方コンテストを実施するとも記載している。この考え方を伺う。
- (4) 11月20日の静岡新聞に「お茶の郷周辺拠点化」と題して、静岡県茶の都構想有識者会議である「ふじのくに茶の都しずおか推進会議」が、構想を具体化する拠点として島田市のお茶の郷と周辺エリアを活用する方針を固めたと記されていた。記事によると、知事は日本一の茶の施設として、一流デザイナーに依頼しリニューアルすると示し、市長は県にはスピード感を持って進めてほしい、最大限協力するとあった。市として今後県との協議のあり方、また、島田市長としての考えを伺う。

2. 駿遠学園関連施設「ひだまり」の現状について

この質問は本年6月定例会の一般質問でも行ったが、その後の進捗状況を伺う。

8. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 地域産業の振興について考える

これからの島田市は人口減少、少子高齢化、財政の圧迫などが論じられ、あまり明るい話は出てこない。これも地域産業に活気がないことが一因と考える。そこで、地域産業の振興について市の考えを伺う。

(1) 次の各産業項目に対し、過去3年間どのような施策を進めてきたか。

- ① 商工業
- ② 農業（茶産業含む）
- ③ 観光業

(2) 上記施策を実施した結果、定量的成果（税収）についてどう評価しているか。

(3) 上記施策を実施した結果、どのような問題点がありどのような改善をしているか。

(4) 今後に向けてどのような工夫をする予定か。

1. 蓬萊橋周辺の観光振興について

観光の振興は交通、宿泊、物販など広範な分野にその波及効果が期待される施策であり、今後とも観光客の来訪（インバウンドの促進）と消費を喚起するための条件を整備し、地域の振興につなげていく取り組みが必要と考える。わけても、蓬萊橋は大井川に由来する本市固有の歴史資源であり全国から多くの人を訪れる観光資源であるが、その周辺整備について市長の所見を伺う。

- (1) 休憩所やお茶等地元産品の販売を行う、来訪者のためのおもてなし施設の整備を考えていないか。
- (2) 番小屋前下に整備された伊佐新次郎ゆかりの桃の木、寒咲きアヤメ、草のアカザ等の花・木・草を活用した、蓬萊橋への関心度アップに向けた取り組みへの支援の考えはどうか。
- (3) 世界文化遺産である富士山を望むビューポイントとして、周辺の案内図やサインの設置を考えていないか。

2. 市民会館休館後の検討状況について

- (1) 公共施設マネジメント計画における現在の検討状況はどうなっているか。
- (2) 現存する建物の撤去の見通しはどうなっているか。

10. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 市の最終処分場について

- (1) 新処分場候補地選定について、現在の進捗状況を伺う。
- (2) 現在の最終処分場の用地について、地権者との使用契約はいつまでか伺う。

2. 市の財政について

- (1) 島田市の財政状況をどう評価しているか伺う。

11. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 避難所開設について

- (1) 地震発災時と風水害時の違いはどのようなものか。
 - ① 開設基準の違いは何か。
 - ② 避難者の持ち物の違いは何か。
 - ③ 職員の待遇はどうか。
- (2) 避難所での情報収集方法はどのようになっているのか。
- (3) 避難所への連絡方法は何か。

2. 交通事故・物損事故等の削減について

- (1) 公用車等による交通事故の現状について
 - ① 近年の発生状況はどうか。
 - ② 事故発生後のフローはどうか。
 - ③ 防止策は何か。
- (2) 市道等の不具合による物損事故等について
 - ① 近年の発生状況はどうか。
 - ② 事故発生後のフローはどうか。
 - ③ 防止策は何か。

12. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

1. コミュニティバスの運行見直しについて

当局は先般過疎計画作成に向け各地で集落座談会を開催した。私は2会場ほどしか出席できなかったが、各座談会の会場ではコミュニティバスの運行に対する要望が各地域から寄せられたと思う。また、議会が開催している議会報告会においても要望の意見があった。コミュニティバス運行に対する市民の強い期待があることを受けて、以下質問する。

- (1) 現在、コミュニティバス運行の見直し作業を行っているか。行っているのであれば、具体的な作業の進め方、スケジュールについて示してほしい。
- (2) 見直しをする上で最も重要視する点は何か。
- (3) 特に問題があるのはどの路線で、どのような問題があるのか。
- (4) 今後の運行見直しに係る財源に対する市長の考えを伺う。

2. 市民病院建設計画の策定について

新市民病院の建設については、基本構想の策定をプロポーザルにより株式会社システム環境研究所に決定し、構想が作成された。市議会においては構想の中身、具体的には場所の選定方法、病床数、予算など何人かの議員から疑問が投げかけられたが、当局は基本構想に基づいて粛々と進めると明言した。

この基本構想はパブリックコメント等や市議会の提言を入れ一部修正されているが、先に挙げた問題点には説得力のある説明が示されず、あくまで基本計画で示すとの姿勢である。そこで以下伺う。

- (1) 基本計画策定の委託先が基本構想を策定した業者である株式会社システム環境研究所から株式会社病院システムに変更された要因は何か。
- (2) この選定結果について、市長の見解を伺う。
- (3) この2社は基本構想でも幾つかの相違点があり、選考委員の採点の結果、株式会社システム環境研究所に決まった経過があるが、今回、株式会社病院システムが基本計画を策定することで、構想そのものから見直すのか。基本構想と基本計画の整合性をどのように考えているか。
- (4) 現時点での建設場所、病床数、予算規模に対する市長の見解を伺う。

13. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 平成26年度島田市事業仕分けを振り返って

9月20日、21日の両日、島田市においては初めての事業仕分けが実施された。事業仕分けは、官と民、国と地方の役割を現場視線で整理することが目的で、2002年から自治体の一般会計事業を対象に始まったものである。自民党の「無駄撲滅プロジェクトチーム」が事業仕分け（政策棚卸し）を実施し、その後、民主党でも全省対象に事業仕分けの手法を用いて事業が精査され、2009年から2012年にかけて政府内に行政刷新会議が設置され、事業仕分けが実施されたことがマスコミで取り上げられ国民の話題となった。

全国的に県や地方自治体において、事業仕分けは事業レビューなどとして本年11月時点で105団体、延べ205回実施されている。

島田市の事業仕分けは本年を初年度とし平成28年度までの3年間実施される計画であるが、形ばかりの「やっただけ」にとどめないで実態を伴ったものにするため、また、本年度の事業仕分けを検証するために以下質問する。

- (1) 事業仕分けを実施した目的は何か。
- (2) 事業仕分けを実施するに当たり、実施方法の検討はどのように行ったのか。
- (3) 対象事業の選定方法と、選定過程はどのように行ったか。
- (4) 事業仕分け委員、傍聴者からの指摘事項、感想はどのようなものであったか。
- (5) 本年度の事業仕分けの結果を来年度以降どのように反映させる予定か。
- (6) 事業仕分けの反省点、改善点はどのように検討しているか。

14. 17番 大石節雄 議員 (一問一答)

1. 島田市の人口減少対策について

人口減少は日本全国、静岡県、もちろん島田市においても重要な課題である。島田市総合計画後期基本計画においても現状及び将来推計として問題視されている。計画の中では、人口減少社会における持続・発展可能なまちづくりを進めるために3つの重点プロジェクトとして施策を計画している。

そこで、将来に向けて人口減少をどこまで食いとめることができるのか、または人口増を目指しているのか。今までの取り組みや今後の考え方について以下伺う。

(1) 人口減少に対する現状認識及び取り組むべき課題について

- ① 人口が流出する要因は何であると分析しているか。
- ② 定住者がふえない要因は何であると分析しているか。
- ③ 将来人口が減少することによる市民への影響は何と考えるか。

(2) 人口減少への対策について

- ① 人口減少対策として具体的に挙げられる事業は何か。
- ② 人口減少対策担当部署はどこになるのか。
- ③ 人口減少問題対策会議など、市全体で取り組む考えはあるか。